



うるま市子ども議会開催

うるま市の次世代を担う子どもたちの柔軟な発想を生かし、子どもの目線から見たまちづくりを考えようと、「うるま市子ども議会」が11月8日、市役所4階の議場で開催されました。当日は、各中学校から選出された34人の議員が出席し、日ごろの生活で感じていることや、困っていること、市に対する要望などを提案しました。

緊張した面持ちで議場に入場した各議員は、それぞれの名札がつけられた席に着席しました。午前10時の開始ベルが鳴ると、与勝第二中学校二年生の久保田明成（くぼた あきなり）議長の開会宣言により子ども議会が開催されました。

各学校の代表として選出された議員は、一人ずつ質問席に立ち堂々と自分たちの意見を述べていました。質問内容は「うるま市になって良かったこと」、「未成年の飲酒、喫煙防止について」、「米軍の騒音対策について」、「ごみ減量の具体的な取り組みについて」など、さまざまなお見や質問が出されました。

知念恒男市長や前門幸雄教育長、関係部長が答弁を行うと、子ども議員の皆さんは、時おりメモを取るなどして真剣な表情で聞いていました。

